

北海道Special プロジェクト 2020

成果報告書

室蘭Specialマジックショー

平成30年12月12日（水）・室蘭聾学校

新得Specialフットサル&サイエンスショー

平成30年12月19日（水）・新得高等支援学校

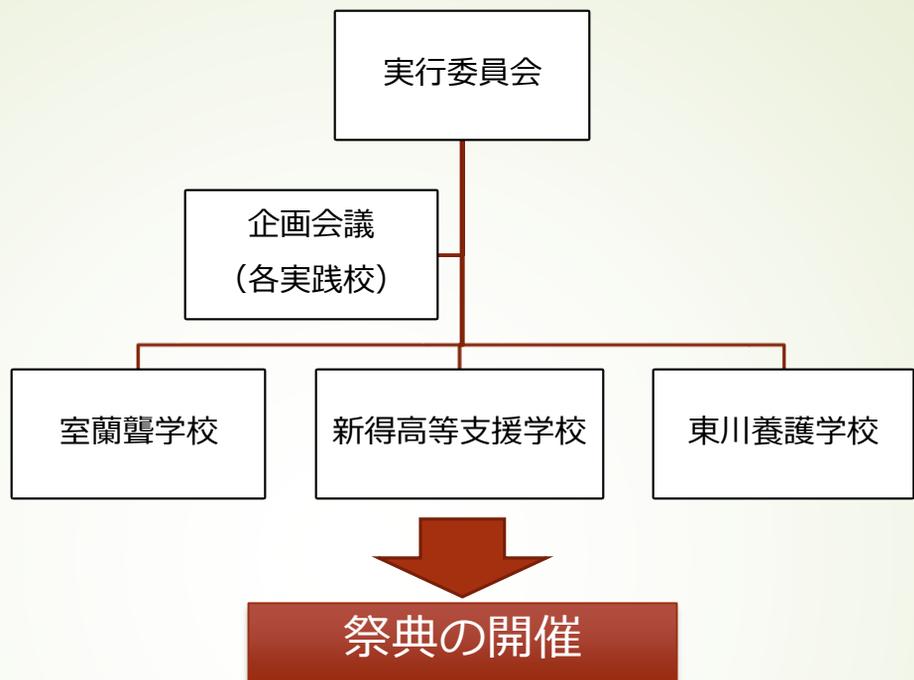
東川Specialダンス&マジックショー

平成30年12月21日（金）・東川養護学校

◆目的

- ・北海道では、昨年度から2020年からの新たな特別支援教育（学習指導要領改訂）を契機に、北海道内の特別支援学校で、スポーツ・文化・教育活動の祭典を開催することを通じて、「ほんもの」のスポーツ・芸術に触れ感動する機会や障がいの有無等を超えて誰もが心に触れ合う機会を創出するとともに、地域住民の主体的な参画による、地域の共生社会の拠点づくりに資する事を目的としている。
- ・今年度は、室蘭市、新得町、東川町にある特別支援学校でプログラムを実施し、児童生徒をはじめとした参加者が、「ほんもの」に触れる機会を創出するため、スポーツや芸術など多様な専門家を招聘した。

◆展開イメージ



◆事業の成果と課題

【成果】

- 障がいの有無にかかわらず、多くの参加者が直接、質の高い演技や技術などに触れ感動を共有することができた。
- 地域の人々と一体となった事業展開をしたことで、特別支援学校の理解活動へとつながった。
- 普段、ほんものに接する機会の少ない地方の学校にとって、充実した教育活動となり、児童生徒の学習意欲につながった。
- プロジェクトを通じて、アスリートやパフォーマーなど新たな人材の発掘につながり、地域資源の有効活用が図られた。

【課題】

- 児童生徒の障がい程度が重度・重複化していることや幅広い年齢に対応するため、事業内容や講師の選定に時間を要した。
- 本事業は、スポーツ部局で実施しているが、学校の教育カリキュラムとの整合性を図り、より深みを持つ事業にするためには、教育委員会での実施が望ましいと感じた。

【今後の展望】

- 地域や課題が主体となつての事業展開を図っていくため、アスリートやパフォーマーなどの紹介や事業プログラムの作成など、道がコーディネーターとして引き続き支援を行っていく。

北海道Specialプロジェクト2020 室蘭会場

【学校への企画提案】

○平成30年10月17日（水）

教頭や担当教諭との打ち合わせを実施し、幼児児童生徒の様子や学校のニーズをヒアリングした結果、以下の企画の提案を行った。

- ・マジックショー
- ・バルーンアートパフォーマンス
- ・パントマイム
- ・スポーツスタッキング
- ・バスケットまたはフットボールのフリースタイルパフォーマンス

【事業本番】

室蘭Specialマジックショー



◆日時

平成30年12月12日（水） 10:40～11:25

◆会場

室蘭盲学校体育館

◆講師

Entertainer MIKIYA（エンターテイナーミキヤ）



◆内容

- ・道庁が登録した「赤れんがアーティスト」による国内トップレベルのマジックショー。幼児児童生徒も参加できる場面があり、ほんもののマジックをより近くで体感。

◆参加者の反応

- ・幼児児童生徒の幅広い年代と、多様な実態の子どもたちも視覚的に見て楽しめる、学校の実態に合った良いプログラムだった。
- ・幼児児童生徒は、真剣に見てたり、楽しそうに参加したりと満足そうであった。特に、水晶玉を自在に操るパフォーマンスは、興味津々の様子であった。

◆講師のコメント

- ・障がいのある子どもたちの前でマジックをするのは初めての経験ではあったが、子どもたちが興味を示し、目を輝かせていたことが印象的だった。今後もこうした活動を継続できれば良いと思っている。



北海道Specialプロジェクト2020 新得会場

【学校への企画提案】

○平成30年10月22日（月）

教頭や担当教諭との打ち合わせを実施し、児童生徒の様子や学校のニーズをヒアリングした結果、以下の企画の提案を行った。

- ・マジックショー
- ・サイエンス実験パフォーマンス
- ・ダンスパフォーマンス
- ・チアリーディング
- ・車いすバスケットまたはラグビー選手によるデモンストレーション
- ・バスケットまたはフットボールのフリースタイルパフォーマンス
- ・スポーツスタッキング

【事業本番】

新得Specialフットサル&サイエンスショー ★

◆日時

平成30年12月19日（水） 13:20～15:00

◆会場

新得高等支援学校体育館

◆講師

エスポラーダ北海道（フットサル）
くすだ博士（サイエンスショー）



◆内容

- ・北海道のプロフットサルチーム「エスポラーダ北海道」所属選手による講義と実技。フットサルの技と楽しさをより近くで体感。
- ・全国の学校施設等で数多くのサイエンスショーの実績がある「くすだ博士」を招いて、科学や自然の不思議さを身体を使って楽しく実演。会場と一体となって科学や自然の驚きを体感。

◆参加者の反応

- ・フットサルでは、トップレベルの実技を間近で見たり、一緒にボールを蹴るなど、児童生徒は楽しそうに参加していた。運動が苦手な子も楽しそうに参加していて良かった。
- ・サイエンスショーでは、児童生徒の学習レベルにあった内容が用意されていたことから、生徒たちは興味をもって真剣な目で見ていた。

◆講師のコメント

- ・障がいのある子どもとの触れ合いは初めてだったが、また機会があれば、一緒に体を動かすプログラムを行ってみたい。
- ・子どもたちが興味津々だったのでホッとした。サイエンスショーの内容としては、よりシンプルなもの伝わって良かった。



北海道Specialプロジェクト2020 東川会場

【学校への企画提案】

○平成30年10月25日(木)

教頭や担当教諭との打ち合わせを実施し、児童生徒の様子や学校のニーズをヒアリングした結果、以下の企画の提案を行った。

- ・マジックショー
- ・バルーンアートパフォーマンス
- ・ダンスパフォーマンス
- ・バスケットまたはフットボールのフリースタイルパフォーマンス
- ・スポーツスタッキング
- ・弦楽器等の音楽コンサート

【事業本番】

東川Specialダンス&マジックショー

◆日時

平成30年12月21日(金) 10:10~11:40

◆会場

東川養護学校体育館

◆講師

Passista Spirits (パシスタスピリッツ) (ダンス)

Entertainer MIKIYA (エンターテイナーミキヤ) (マジック)

◆内容

- ・地元プロバスケットボールチーム・レバンガ北海道専属ダンスチーム「パシスタスピリッツ」によるダンスパフォーマンス。児童生徒も一緒に参加してダンスの楽しさを体感。
- ・道が登録した「赤れんがアーティスト」による国内トップレベルのマジックショー。ほんもののマジックをより近くで体感。

◆参加者の反応

- ・ダンスでは、自然とリズムに乗って体を動かしたり、声を出して声援するなど、とても楽しんでいる様子だった。
- ・マジックでは、軽快なトークと高度なマジックに、児童生徒は不思議そうに見入ったり、驚いたり、歓声をあげて楽しんでいた。

◆講師のコメント

- ・子どもたちが一緒に踊って楽しんでくれて良かった。ダンスは誰でも手軽にできるので学校の授業でも行ってほしい。
- ・障がいのある子どもとのふれあいは室蘭聾学校を含め2回目。障がい種別が違って楽しんでいただけたので嬉しい。また機会があれば、マジックをお見せしたい。





本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、北海道が実施した平成30年度「Specialプロジェクト2020（Specialプロジェクト2020体制整備事業）」の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

発行元

北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課
オリンピック・パラリンピック連携室